

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県大磯警察署協議会
日時	令和5年7月27日(木) 午後2時から午後4時までの間
場所	神奈川県大磯警察署
出席者	1 警察署協議会側 杉崎 實、加藤 勝義、芦川 博昭、西山 哲也、萩原 峰子、美濃島 規子、山田 和信 計7人
	2 警察署側 署長 佐藤 真、副署長 三上 佳巳、調査官 小林 泰二 会計課長 岩田 洋子、生活安全課長 後藤 利雄、地域課長 入江 幸之助 刑事課長 福田 順一、交通課長 野田 繁夫、警備課長 矢部 雄一 計9人
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	大磯警察署のテロ対策について
	1 答申 ・ テロを含む犯罪の起きない街づくりが必要である。 ・ 事件が起きた時に素早く対応できる体制づくり、マニュアルが必要である。 ・ テロが身近に感じられるように、住民に対する注意喚起と危機意識が向上するようなさらなる周知が必要である。
	2 措置結果 ・ G7広島サミット開催直前期に、関係警察署及び関係機関と合同での不法滞在者等に対する合同摘発を実施し、犯罪インフラの壊滅に努めた。 ・ 災害及びテロ・ゲリラ等発生時のマニュアルを作成するとともに、装備資機材訓練等を実施し、体制づくりを進めた。 ・ G7広島サミット開催中には、当署ホームページなどでG7広島サミット開催に伴う、各種テロ対策への協力を訴えたほか、関係機関が参加する会合などに広く参加し、爆発物原材料に関する注意喚起を求めたチラシを配布するなどの周知を行った。
	諮問
	還付金詐欺の被害防止方策について
	答申 1 地域の防犯講話等で体験コーナーを設ける。 2 ATMへのステッカー貼付等見える注意喚起の実施。 3 子ども世代への防犯講話を行うなど家族ぐるみでの対策が必要である 4 巡回連絡時に、具体的な話題を用いて積極的な防犯指導を行う。 5 実施した対策や被害状況等を分析し、繰り返し対策を行う。
業務説明	
	前四半期（4月から6月まで）の業務推進結果及び今四半期（7月から9月まで）の業務推進重点について説明を行った。